

## 仁科センター共用促進・産業連携部公募研究会 申請書 (mini-WS用)

提出年月日： 2013年5月20日

提出先：[sympo-kyoyo@ribf.riken.jp](mailto:sympo-kyoyo@ribf.riken.jp)

## 1) 開催予定日・場所

日程： 2013年7月2日 (yyyy/mm/dd) ~ 2013年7月4日 (yyyy/mm/dd) (開催日数 3 日間)

場所： 理化学研究所 RIBF棟 2F 大会議室

※ 事前に仁科センターのセミナー委員会 (npsoc@ribf.riken.jp) に連絡し、日程重複を避けるようにしてください。

## 2) タイトル

英文 (※必須)	RIBF ULIC mini-WS "Nuclear symmetry-energy and nucleus-nucleus collision simulation"
和文	仁科センター共用促進・産業連携部ミニワークショップ「対称エネルギーと原子核-原子核衝突シミュレーション」

※ 採択された研究会はRIKEN Accelerator Progress Report に掲載するため英文タイトルは必須です。

## 3) 目的 (400字以内・書式自由)

高密度核物質の対称エネルギーは中性子星の構造を知る上で重要な物理量であるが、曖昧さなく定めることが容易でない。近年、中間エネルギー領域での中性子過剰核ビームを使った原子核衝突実験が計画され、対称エネルギーに関する新たな知見が得られるものと期待されている。この領域での原子核-原子核衝突には半古典的輸送方程式に基づく理論が有効とされているが、観測量の予想がシミュレーションコードにより異なるのが現状である。本ワークショップでは、7月後半MSUで開かれる対称エネルギーの国際集会を前に、シミュレーションの基礎となる理論の特徴、問題点や有効核力のレビュー (J. Stone氏ら関係者による) と一般参加者からの問題提起、議論を通じて、不定性低減のため理論的アプローチの改善すべき点を明らかにし、その妥当性を実験的に確認する方法を検討する。そして、RIBFでSAMURAI-TPCを使って行われようとしている高密度核物質の対称エネルギーの実験的確定に向けて今後の理論・実験の方針を策定する。

## 4) 世話人

世話人全員を記入。欄が不足する場合は行をコピーしてください。

	氏名	所属機関	電話	E-mail
世話人代表者 ※1	村上哲也	京都大学	075-753-3866	murakami@scphys.kyoto-u.ac.jp
世話人2	中田仁	千葉大学	043-290-3681	nakada@faculty.chiba-u.jp
世話人3	丸山敏毅	日本原子力研究機構	029-282-5457	maruyama.toshiki@jaea.go.jp
世話人4	中里健一郎	東京理科大学	04-7124-1501 (3267)	nakazato@rs.tus.ac.jp
世話人5	稲倉恒法	千葉大学	043-251-1111	inakura@chiba-u.jp
世話人6	石塚知香子	東京理科大学	04-7124-1501 (3267)	chikako@rs.tus.ac.jp
RIBF内世話人 ※2	磯部忠昭	理化学研究所	047-467-4174	isobe@riken.jp

※1 世話人代表者は、理研RIBF外の方が望ましい。

※2 理研RIBF内に世話人がいない場合は、事務局へご連絡ください。

## 5) 参加予定者・補助概算額

欄が不足する場合は行をコピーしてください。

氏名	所属機関・身分	旅費補助 ※補助予定者についてのみ記入				
		交通費概算		宿泊費概算		
		経路	金額	単価	泊数	宿泊費計
村上哲也	京都大学・講師	京都～和光市(往復)	¥ 27,120	¥ 6,720	2	¥ 13,440
中田仁	千葉大学・教授	西千葉～和光市(2往復)	¥ 4,080	¥ 6,720	1	¥ 6,720
丸山敏毅	日本原子力研究機構・研究主幹	柏～和光市(3往復)	¥ 4,680	¥ 6,720	2	¥ 13,440
中里健一郎	東京理科大学・助教		¥ -	¥ -	0	¥ -
稲倉恒法	千葉大学・特任研究員	西千葉～和光市(往復)	¥ 2,040	¥ 6,720	2	¥ 13,440
石塚知香子	東京理科大学・プロジェクト研究員	多磨霊園～和光市(往復)	¥ 1,320	¥ 6,720	2	¥ 13,440
大西明	京都大学基礎物理学研究所・教授	京都～和光市(往復)	¥ 27,120	¥ 6,720	2	¥ 13,440
Jirina Stone	University of Tennessee-Knoxville Adjunct Professor		¥ -	¥ -	0	¥ -
合計			¥			140,280

参加予定者全員の氏名・所属機関を記入し、旅費補助予定者については補助概算額を記入してください。

- 【注意事項】
- 外国から招へいする場合は、日本国内の旅費と宿泊費をサポートします。
  - 東京都・埼玉県内に勤務する参加者は旅費補助の対象外です。
  - サポートは実費です。
  - 宿泊費は6,720円/泊を上限とします。

## ■ お茶代

ミニワークショップについてのお茶代の補助はありません。

補助申請額合計	¥	140,280
---------	---	---------

※ 上限：150,000円